

に犯行をしようとする考え方を持ち、そのような考え方を通じ合わせていることを意味している。被告人らと現場にいた者たちは、震災がれき焼却を阻止するため、その説明会の開催に対して抗議しようという共通の目的を持ち、そのためにお互い協力し合って行動しようという考えを通じ合わせていたと認められるから、そのため具体的にどのような行動を取るかは各自で決め、お互いの行動は干渉しないという考え方を持っていたからといって、共謀が成立しないということはできない」とある。これはすごく危険な考え方の判決です。同じデモに参加している中で、一人の人を警察が威力業務妨害と判断すれば

ば、デモに参加する全員を共謀として、逮捕してもよいと裁判所が判断した判決です。警察や検察の恣意的な判断で自分たちが逮捕したいと思うデモ参加者を軒並み逮捕す

ることができます。

現在、高裁に控訴されました。が、こちらのほうも、釜ヶ崎大弾圧と同じく、ご支援よろしくお願ひします。

デモや抗議は権力の横暴への体を張った表現だ

最後に、寺島珠雄の釜ヶ崎暴動を歌った詩の中でこんなのがあります。

「袋は
ビニールより紙がいい
新聞紙より丈夫で
セメント袋ほどでかくない奴
バラスより碎石
それと鉱滓も使えるだろう
太鼓と鐘も準備しよう
にぎやかにいくのだ」

は何がいいかな♪ 石を入れる袋は何が適しているかな♪と仲間同士で話している様子の会話のリズムで暴動の高揚感の高まりと、太鼓と鐘を用意しにぎやかにやることの重要性が楽しく歌われている。

日頃から奪われた人間としての権利を回復するために、なるだけ、にぎやかにやることです。

これは此花区のがれき説明会に抗議しようとしたりさんや〇さんにも繋がるし、4・5 釜ヶ崎大弾圧の行動にも繋がります。

そもそも、デモや抗議行動などは権力の横暴に対する体を張った表現行為である。機動隊に水平で放水車を撃たれあがらを折られたり、警棒でどつかれたり、盾でミゾオチに振り下ろされたり、鉄板の入った靴で脛を蹴



これは暴動が、普段から差別や偏見、警察や手配師の横暴、暴力飯場、ヤクザやパチンコ屋による搾取にさらされた労働者たちの、唯一のやりかえしによる表現であり、力関係としても、圧倒的に力のある存在に拮抗できる、もしくはそれを超えることができる表現であることを証明だと思います。機動隊に投げる石